観光力・消防力さらに前へ

塚本まさる

Tukamoto Masaru
奈良市議会議員

議会活動報告

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、改正特別措置法（新型コロナ特措法）に基づく2度目の緊急事態宣言が11都府県（東京、埼玉、千葉、神奈川、栃木、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫、福岡）に発令されました。市民の皆さまにおかれましては、不要不急の外出をお控えいただき、感染の防止へご協力をお願いいたします。奈良市公式ホームページ（https://www.city.nara.lg.jp）では随時、市の対応策など最新情報を発信しています。ご確認ください。

感染拡大する新型コロナ

きめ細やかな支援、市民の安全・安心へ
市に対応策確認し、提言や要望

奈良市議会の会派「自民党・結の会」に所属する塚本勝は、令和2年度の市議会本会議で、感染が拡大する新型コロナウイルスへの市のさまざまな対応策について質問を行ってきました。奈良市立病院では、救急搬送時に現場でいち早く処置ができる「ドクターカー」を運用していますが、新型コロナへの対応に追われ、出動が難しくなっています。これらの問題点や、福祉政策について、市の考えを質問し、提言・提案を行いました。

きるよう求めました。

これを受けて9月は要請が19件で出動は2件、10月の要請は22件で出動は1件、11月は要請25件、出動は11件でした。市議会12月定例会で再度の質問に市は「ドクターカーの運用体制の調整として市立病院と医療政策課と意見交換を行い、現状としてドクターカー担当医師が新型コロナウイルス感染症の件や診察を実施することが多く、ドクターカーへの対応が困難」と説明。今後、出動できる体制を整えるため、医師の確保に取り組んでいく考えを示しました。

わたしは、市民の安心・安全につなげてもらうため、ドクターカーで出動できる医師の確保にしっかりと取り組んでもらうことを要望しました。

ドクターカー出動へ
担当医師の確保を求める

奈良市は、救急搬送の際、重症患者の救命率の向上や後遺症の軽減を図る目的で、救急車の出動に加えて医師が現場で一刻も早い処置を行う「ドクターカー」＝**写真**＝を出動させています。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、ドクターカーの運用状況について一般質問や委委員会で取り上げました。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、市立奈良病院の医師、看護師の方々が日々、最前線の対応に追われる中、ドクターカーの出動件数は4月から8月までゼロと、出動が困難な状況が続いており、市議会9月定例会でわたしは、出動で

生活保護増加予測
「市は早期の就労支援を」

現在のコロナ禍の影響で景気後退による生活困窮者の増加が懸念されています。市では住居確保給付金増額などの対応をしていますが、新型コロナの流行がいつまで続くか、今後の判断が難しい状況です。市における生活保護申請件数の増減などについて質問しました。

市の今年度10月までの生活保護世帯数は5413世帯で、昨年度は5396世帯でした。月別で見ると多少の増減はあるものの、ほぼ横ばいで推移しています。しかし市は答弁で「今後、さらに申請件数や保護世帯数が増加していくのではないか」との見通しを示しています。

今後の増加が予想される生活保護に対しては、それぞれの方々に早期に就労できるようきめ細やかな支援を講じるように、市に提言しました。

近鉄大和西大寺駅北側の歩道老朽化
地元の皆さまと要望し補修

近鉄大和西大寺駅北側の歩道（谷田奈良線）が老朽化により、損傷やでこぼこが生じ、点字ブロックのはがれなどが見られたため、地元の皆さまと共に要望し、県土木事務所に補修工事をしていただきました**＝写真**。

市内でも自動車、歩行者を含めて交通量の多いこの道路と歩道の安全確保に対して、地域の皆さまから改善の要望をお受けしていました。損傷してでこぼこしていた歩道はフラットになりました。

補修工事前

補修工事後

奈良市佐紀町2241番地の4
TEL/FAX. 0742-34-3699
http://tukamotomasaru.com/

【主な役職】
・奈良市消防団都跡分団部長
・奈良商工会議所青年部OB朋友会役員
・奈良納税協会青年部役員
・奈良飲食店組合役員
・奈良防衛協会青年部会員
・奈良経済産業協会青年経営者部会会員
・おん祭り大名行列保存会会員
・日本バーテンダー協会奈良県本部顧問